

環境活動レポート 2017年度

(対象期間 2017年4月1日～2018年3月31日)



2018/8/1発行

承認	作成
澤井	西村
社長	管理責任者

未来へ伝わる・つながるIPネットワークのヒノックス

Telecommunications and Power Electronics
株式会社 ヒノックス

目次

1. 組織の概要	1
(1) 事業所名	1
(2) 所在地	1
(3) 代表者	1
(4) 管理責任者	1
(5) 連絡先	1
(6) 事業の概要	1
(7) 事業規模	1
(8) 関係会社	1
2. 取組の範囲・対象組織	2
(1) 認証・登録番号	2
(2) 登録範囲	2
(3) レポートの対象期間	2
(4) レポートの発行日	2
(5) 対象組織	2
3. 環境方針	3
4. 環境目標	4
(1) 基準値設定	4
(2) 中長期目標	4
5. 環境計画	5
6. 環境目標の実績	6
7. 環境計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7
(1) 廃棄物排出量の削減	7
(2) 省エネルギー	10
(3) 二酸化炭素排出量の削減	12
(4) 水使用量の削減	14
(5) グリーン購入	15
(6) マテリアルバランス	16
(7) その他の取組	16
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	18
(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	18
(2) 違反、訴訟等の有無	18
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	19
10. 環境情報の開示	19

1. 組織の概要



(1) 事業所名

株式会社 ヒノックス

(2) 所在地

〒193-0835 東京都八王子市千人町2丁目12番5号

(3) 代表者

代表取締役 澤井 功

(4) 管理責任者

環境管理責任者 西村 幸男 (営業課)

(5) 連絡先

TEL : 042-665-3991 (代表)

FAX : 042-665-2223

URL : <http://www.hinox.co.jp/>

(6) 事業の概要

電源機器(産業用スイッチング電源)及び情報システム機器(情報伝送装置、モデム及び監視制御装置等)の開発・設計・製造・販売及び付帯サービス



(7) 事業規模

年度	2015年度	2016年度	2017年度
売上金額	11億3300万円	7億8400万円	7億6400万円
従業員数	40名	40名	42名
床面積	1,606㎡	1,606㎡	1,606㎡

2. 取組の範囲・対象組織

(1) 認証・登録番号 (エコアクション21)

0000404

(2) 登録範囲

株式会社ヒノックス(含む構内外注：有限会社北斗電子工業)

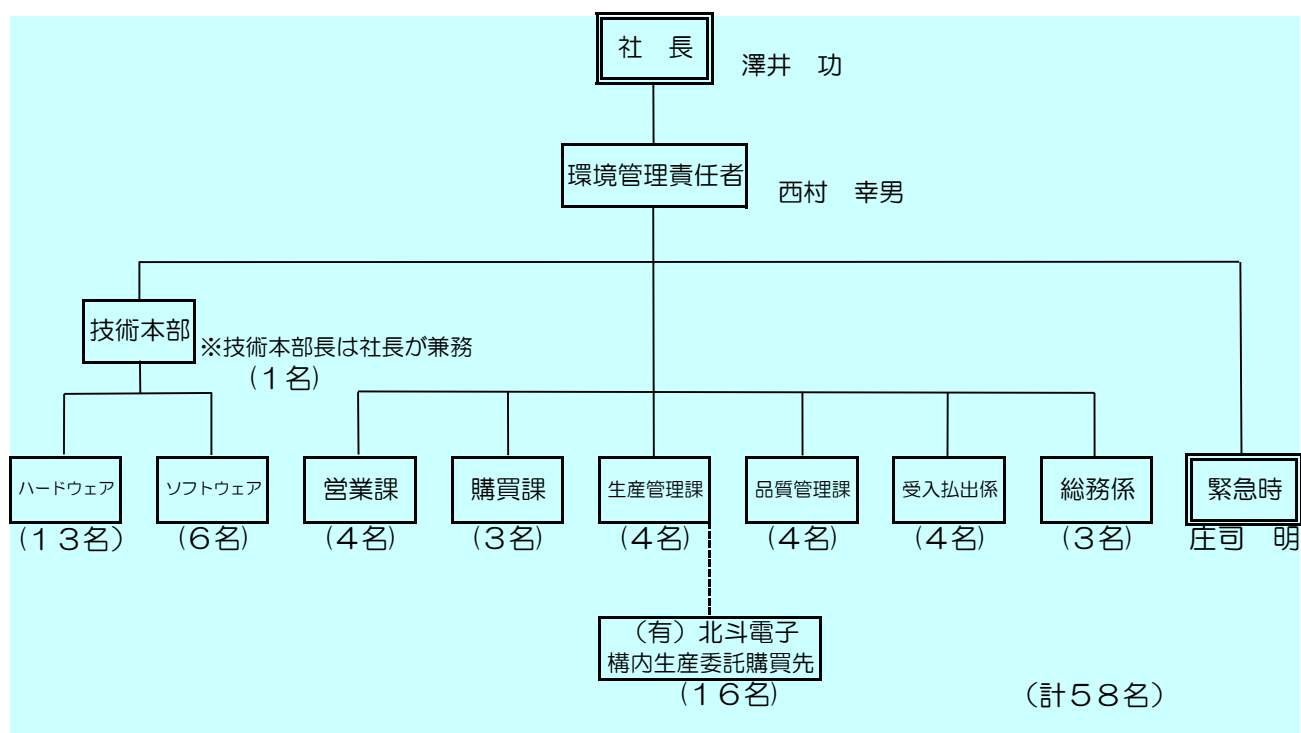
(3) レポートの対象期間

2017年4月1日～2018年3月31日

(4) レポートの発行日

2018年8月1日

(5) 対象組織



氏 名	所 属	役 割
澤井 功	代表取締役	全体の統括、環境方針の設定、全体の評価と見直し
西村 幸男	営業課	環境管理責任者、全体の把握・構築・運用、社長に報告
庄司 明	品質管理課	環境緊急事態対応責任者（緊急時の窓口）
紺野 陽一郎	受入払出係	特別管理産業廃棄物管理責任者
神戸 祐子	総務係	環境負荷削減責任者、グリーン購入推進

3. 環境方針

基本理念

当社は、主に情報通信及びパワーエレクトロニクスの分野における独立したメーカーとして、業界に信頼されることを目指して、環境方針を定めて誓約し、全従業員に説明し、揭示し、周知徹底し、実行維持する。

行動指針

1. 事業活動で使用する資源やエネルギー消費量を削減する。
2. 事業活動から排出される二酸化炭素の排出量の削減及び廃棄物排出の抑制、再使用、再生利用を推進する。
3. 生物の多様性に及ぼす影響の低減及び持続可能な社会の構築に貢献拡大するために、地球温暖化に係わる事項を把握して温暖化防止に取り組む。
4. グリーン購入、環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。
5. 環境保全に関連する法規制等の遵守を誓約する。

2017年4月1日
株式会社 ヒノックス
代表取締役 澤井 功

4. 環境目標

(1) 基準値設定（2016年度実績）

項目	2016年度基準 総量実績値
廃棄物排出量	3,279(kg)
コピー用紙購入量	590(kg)
梱包材購入量	2,130(kg)
二酸化炭素排出量	91,278(kg-CO2)
使用電力量	186,462(kwh)
ガソリン使用量	1,247(ℓ)
オーバーホール受注台数	157(台)
水使用量	509(m³)
グリーン購入	購入比率80%以上

(2) 中長期目標

環境目標項目				2017年度		2018年度		2019年度	
廃棄物排出量	kg	前年比	総量	-2%	3,213	-1%	3,181	-1%	3,149
			削減量		-66		-32		-32
コピー用紙購入量	kg	前年比	総量	-2%	578	-1%	572	-1%	566
			削減量		-12		-6		-6
梱包材購入量	kg	前年比	総量	-2%	2,087	-1%	2,066	-1%	2,045
			削減量		-43		-21		-21
二酸化炭素排出量	kg-CO2	前年比	総量	-2%	89,452	-1%	88,557	-1%	87,671
			削減量		-1,826		-895		-886
使用電力量	Kwh	前年比	総量	-2%	182,733	-1%	180,906	-1%	179,097
			削減量		-3,729		-1,827		-1,809
ガソリン使用量	ℓ	前年比	総量	-2%	1,222	-1%	1,210	-1%	1,198
			削減量		-25		-12		-12
オーバーホール 受注台数	台数	目標値	受注 目標値	同等	157	同等	157	同等	157
水使用量	m³	前年比	総量	-2%	499	-1%	494	-1%	489
			削減量		-10		-5		-5
グリーン購入	円	目標値	総額	84%	購入品総額	85%	購入品総額	86%	購入品総額

5. 環境計画

項 目		2 0 1 7 年 度 活 動 内 容	
1. 廃棄物排出量の削減	不燃・可燃ゴミ	①分別、再徹底	日常
		②削減の推進	日常
	コピー用紙	①両面印刷、両面コピーの推進、ミスコピー防止	日常
		②裏紙の使用、電子化、ペーパーレス化	日常
	梱包材	①梱包材の見直し	日常
		②梱包材の再使用、再生利用の推進	日常
2. 省エネルギー	使用電力量	①節電の啓発および省エネ(設備の確認)	日常
3. 二酸化炭素排出量の削減		②蛍光灯のプルスイッチによる間引き、清掃	日常
		③エアコンの温度設定(冷房28℃ 暖房20℃)、空調の使用	夏冬
		④扇風機、ロールカーテン、ブラインドの活用	日常
		⑤事業活動において使用する設備(未使用時オフ)	日常
		⑥設備の電気使用量確認	日常
	ガソリン使用量	①エコドライブ(急発進、急加速、アイドリングストップ)	日常
②用途に合わせて公共交通機関の優先利用		日常	
	オーバーホール	①製品のオーバーホール営業活動	日常
		②経年劣化部品を交換して可能な限り再使用	日常
4. 水使用量の削減	水使用量	①蛇口付近に節水の表示(自動水栓)	日常
		②生活用水以外は洗車など使用を控える	日常
		③トイレに音発生器「音消し」による無駄な水削減	日常
5. グリーン購入の推進	購入量	①グリーン購入品の推進	日常
		②購入品目の拡大	日常
		③コスト把握で効果を計る	日常

6. 環境目標の実績

環境目標項目			基準値	2017年度目標	2017年度	
					実績	評価
廃棄物排出量	kg	総量	3,279	3,213	4,104	×
		削減量	—	-66 (-2%)	+825(+25%)	
コピー用紙購入量	kg	総量	590	578	562	○
		削減量	—	-12 (-2%)	-28(-5%)	
梱包材購入量	kg	総量	2,130	2,087	2,418	×
		削減量	—	-43 (-2%)	+288(+14%)	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	総量	91,278	89,452	96,613	△
		削減量	—	-1,826 (-2%)	+5,335(+6%)	
使用電力量	Kwh	総量	186,462	182,733	196,698	○
		削減量	—	-3,729 (-2%)	+10,236(+5%)	
ガソリン使用量	ℓ	総量	1,247	1,222	1,455	×
		削減量	—	-25 (-2%)	+208(+17%)	
オーバーホール	台数	総量	157	157 (同等)	170	○
		増減	—		+13	
水使用量	m³	総量	509	499	501	○
		削減量	—	-10 (-2%)	-8(-2%)	
グリーン購入	円	G購入額	221,843	購入比率 84%以上 = $\frac{\text{G購入額}}{\text{購入品総額}}$	194,352	○
		購入品総額	247,626 (90%)		217,675 (89.3%)	

* 二酸化炭素の排出係数

東京電力の調整後排出係数 = 基準：2016年度 0.474(kg-CO2/kWh)

実績：2017年度 0.474(kg-CO2/kWh)

* グリーン購入の実績 ※グリーン購入比率(%)=グリーン購入額(¥)／購入品総額(¥)

* 評価=○ 目標達成(5%以内) / 評価=△ まずまず(6%～10%) / 評価=× 未達成(10%以上)

◎本年度は大型な盤物が増加したために、廃棄物排出量、梱包材購入量など増加傾向となりました。その中で、使用電力量、水使用量などは全社員の協力の成果が現れました。次年度は未達成の項目はもとより、全ての項目達成に向けて努力してまいります。

7. 環境計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容

(1) 廃棄物排出量の削減

評価=○	目標達成
評価=△	まずまず
評価=×	未達成

◇不燃・可燃ゴミ

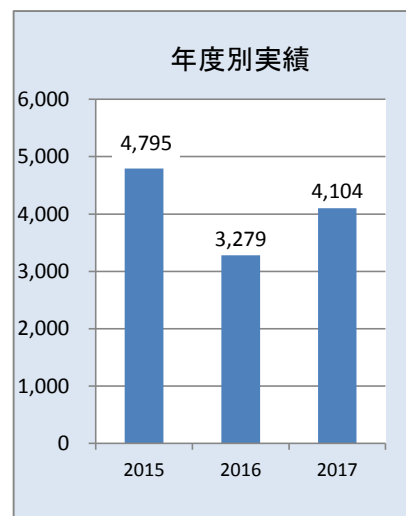
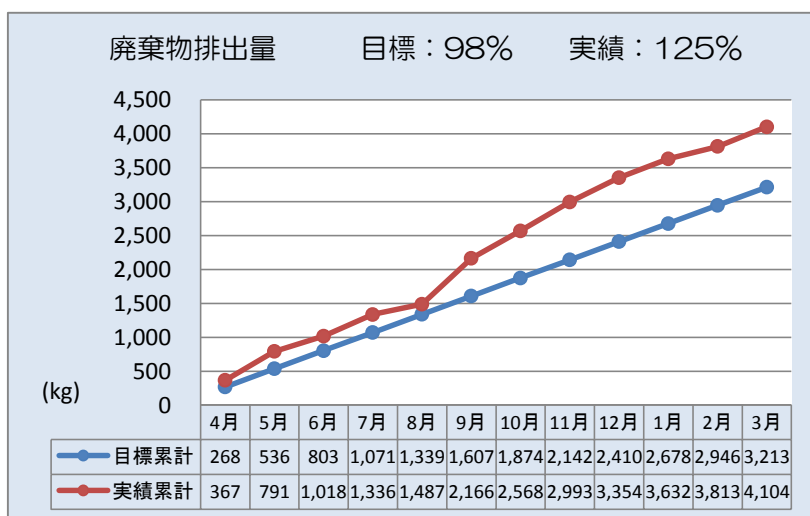
- ① 分別の再徹底
- ② 削減の推進



●取組結果とその評価

廃棄物総量基準値	[3, 279 k g]
廃棄物総量目標値	[3, 213 k g 以下]
廃棄物総量実績値	[4, 104 k g]

評価=【 × 】 基準値より25% (825 k g) 増加



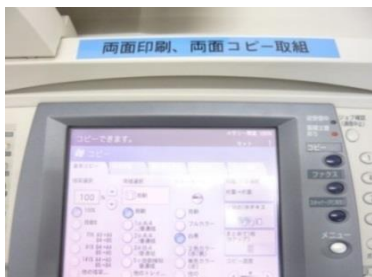
廃棄物排出量は、基準値より27% (891 k g) 増加となりました。
この要因は、大型な盤物の受注増加による購入品の廃棄物と、外注先からの廃棄物を引き取り廃棄した分で増加しました。

●次年度の取組内容

次年度もゴミ分別の徹底、引き続き購入品の廃棄物排出量削減を推進いたします。

◇コピー用紙購入量

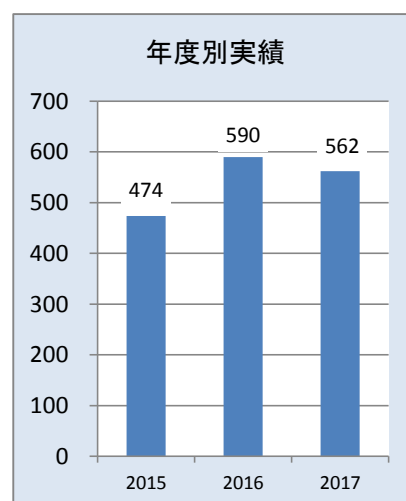
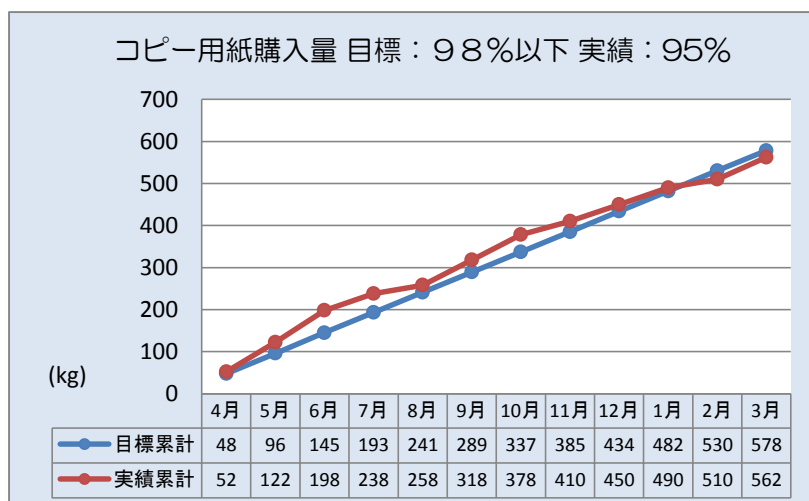
- ①両面印刷、両面コピーの推進
- ②裏紙の使用



●取組結果とその評価

コピー用紙総量基準値	〔590kg〕
コピー用紙総量目標値	〔578kg以下〕
コピー用紙総量実績値	〔562kg〕

評価＝【 ○ 】 基準値より5%（28kg）減少



コピー用紙購入量は、基準値より5%（28kg）減少しました。
この要因は、2月3月の生産分による添付資料の減少によりコピー用紙使用量が減少しました。

●次年度の取組内容

前年度同様に文書の電子化、裏紙の使用と両面印刷、両面コピーの取組を推進いたします。

◇梱包材購入量

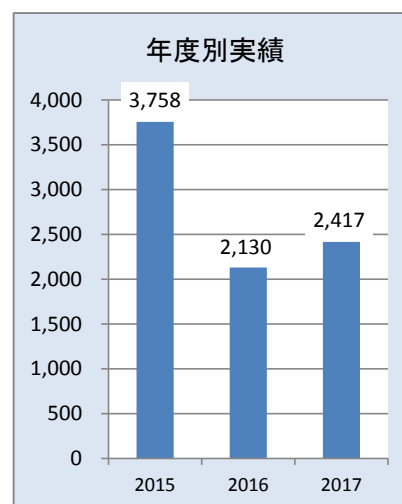
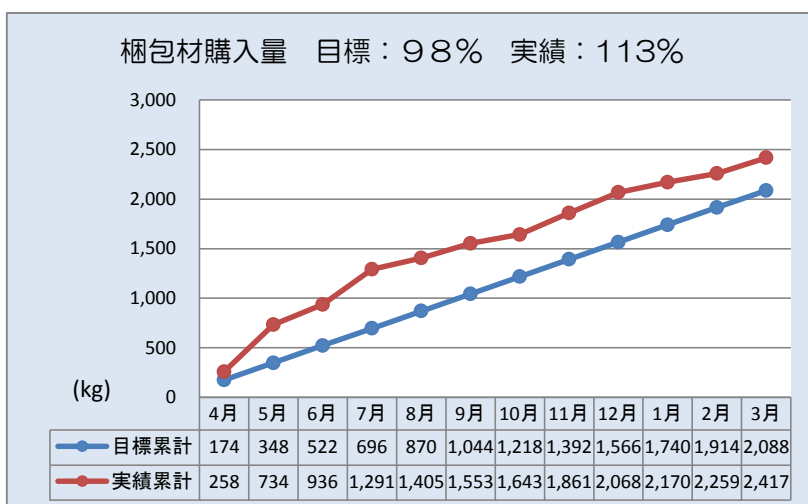
- ① 梱包材の見直し
- ② 梱包材の再使用、再生利用の推進



●取組結果とその評価

梱包材総量基準値	〔2,130kg〕
梱包材総量目標値	〔2,087kg以下〕
梱包材総量実績値	〔2,418kg〕

評価＝【 × 】 基準値より14%（288kg）増加



梱包材購入量は基準値より14%（288kg）増加しました。
この要因は、大型な盤物の受注増加による梱包材の購入量の増加が影響しました。

●次年度の取組内容

梱包材の見直しや梱包材の再使用、再生利用を推進いたします。

(2) 省エネルギー

◇使用電力量

- ①節電の啓発
- ②蛍光灯のプルスイッチによる間引き
- ③エアコンの設定（冷房28℃ 暖房20℃）
- ④扇風機、ロールカーテン、ブラインドの活用
- ⑤事業活動において使用する設備（未使用時オフ）
- ⑥設備の使用電力確認



製造設備（年間使用量）

リフロー	16,450kwh
はんだ槽	1,650kwh
除湿器	24,030kwh
コンプレッサー	3,920kwh

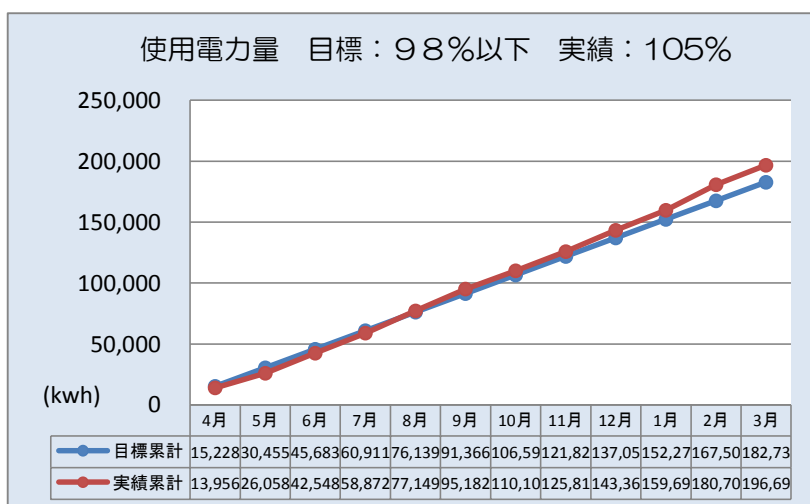
季節設備（年間使用量）

加湿器	6,650kwh
エアコン	27,850kwh
年間使用量合計	80,550kwh

●取組結果とその評価

使用電力総量基準値	〔186,462kwh〕
使用電力総量目標値	〔182,733kwh以下〕
使用電力総量実績値	〔196,698kwh〕

評価＝【 ○ 】 基準値より5%（10,236kwh）増加



使用電力量は、基準値より5%（10,236kwh）増加しました。
使用電力量の5%増は、夏期の猛暑などを考えると全社員の節電の意識、効果が表れた結果だと考えられます。

●次年度の取組内容

各設備の使用電力量の確認、見直しを行い、無駄な使用エネルギーを削減いたします。

◇ガソリン

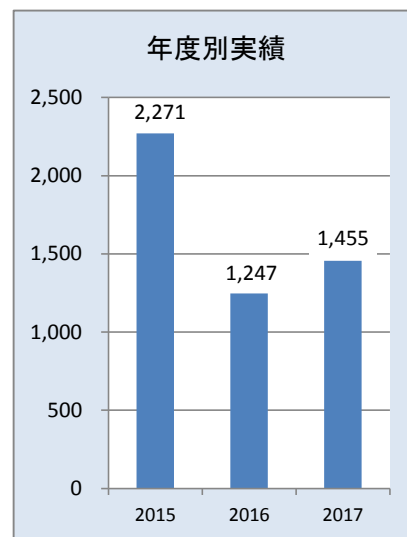
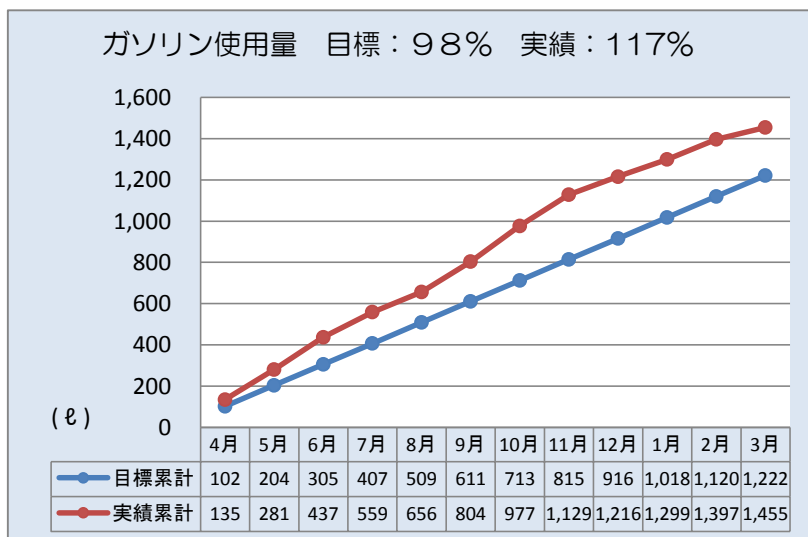
- ①エコドライブ（急発進、急加速、アイドリングストップ）
- ②用途に合わせて公共交通機関の優先利用



●取組結果とその評価

ガソリン総使用量基準値	〔1, 247ℓ〕
ガソリン総使用量目標値	〔1, 222ℓ〕以下
ガソリン総使用量実績値	〔1, 455ℓ〕

評価＝【 × 】 基準値より17%（208ℓ）増加

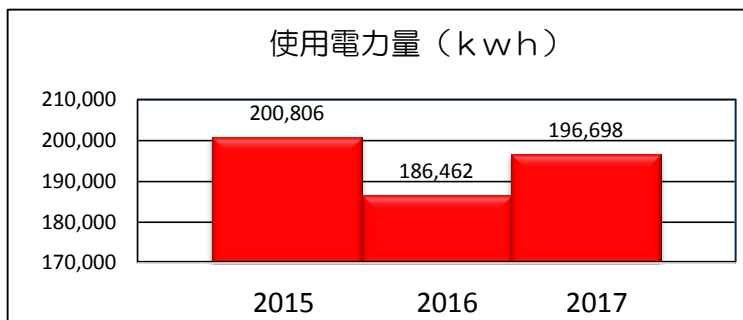


ガソリン使用量は、基準値より17%（208ℓ）増加しました。
この主な要因は、大型な盤物の受注増加に伴い納品、購買先への受渡などが重なりこのような結果になりました。

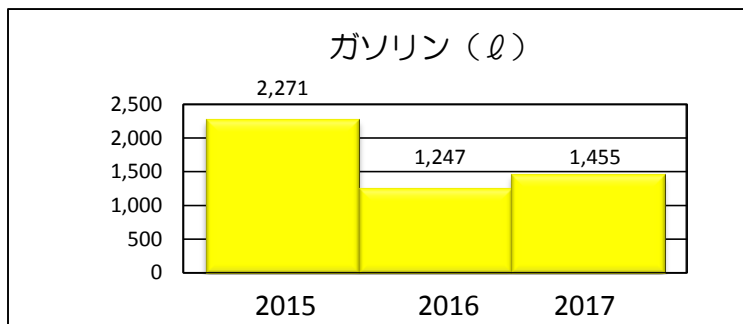
●次年度の取組内容

引き続き用途に合わせて公共交通機関の優先利用とエコドライブを推進いたします。

(3) 二酸化炭素排出量の削減



使用電力量 (kwh)		
2015年度	2016年度	2017年度
200,806	186,462	196,698

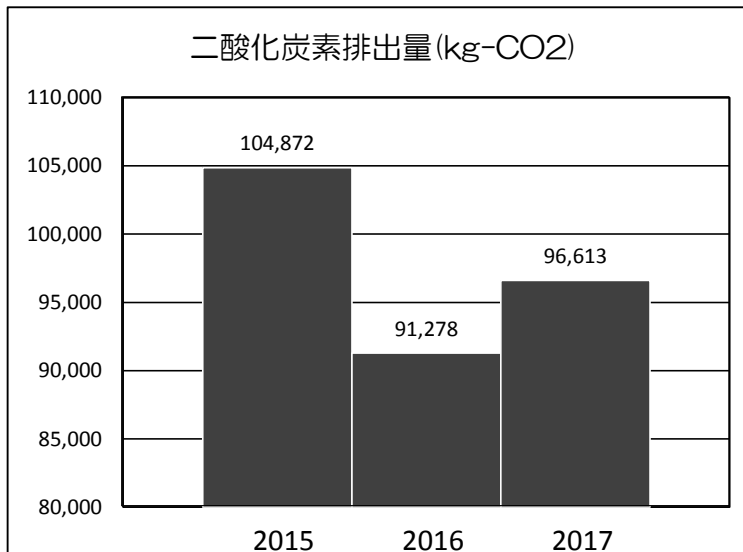


ガソリン (ℓ)		
2015年度	2016年度	2017年度
2,271	1,247	1,455

●取組結果とその評価

二酸化炭素排出量基準値	〔91,278kg-CO ₂ 〕
二酸化炭素排出量目標値	〔89,452kg-CO ₂ 〕以下
二酸化炭素排出量実績値	〔96,613kg-CO ₂ 〕

評価＝【 △ 】 基準値より6% (5,335kg-CO₂) 増加



二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)		
2015年	2016年	2017年
104,872	91,278	96,613

二酸化炭素排出量は、基準値より6% (5,335kg-CO₂) 増加しました。
この要因は、使用電力量の増加は元より、ガソリンの使用量の増加も影響しこのような結果となりました。

●次年度取組内容

引き続き必要な使用電力以外は、使用を控え削減いたします。

◇オーバーホール

- ①製品のオーバーホール営業活動
- ②経年劣化部品を交換して可能な限り再使用



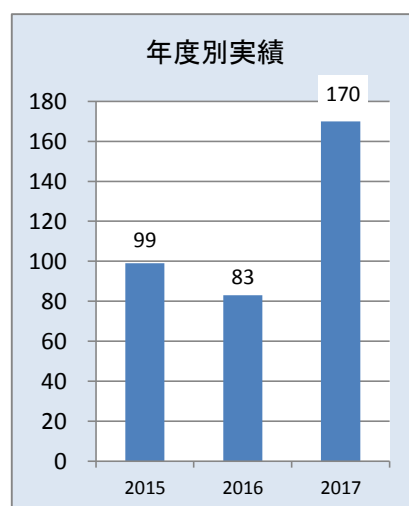
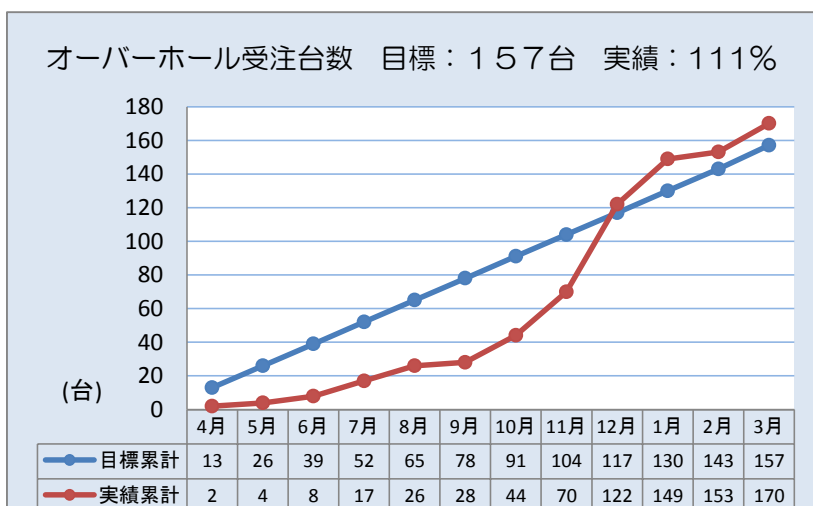
●取組結果とその評価

オーバーホール受注台数基準/目標	〔157台〕同等
オーバーホール受注台数実績	〔170台〕

評価＝【 ○ 】 基準/目標より（13台）受注増

OH対応等による受注台数

実績：170台



オーバーホールの受注台数は、基準/目標より13台増加しました。
2017年度は昨年度と比べオーバーホール製品の更新件数が増加傾向にありました。

●次年度の取組内容

オーバーホールの受注活動や、経年劣化部品を交換して可能な限り再使用する活動を継続いたします。

(4) 水使用量の削減

◇水使用量

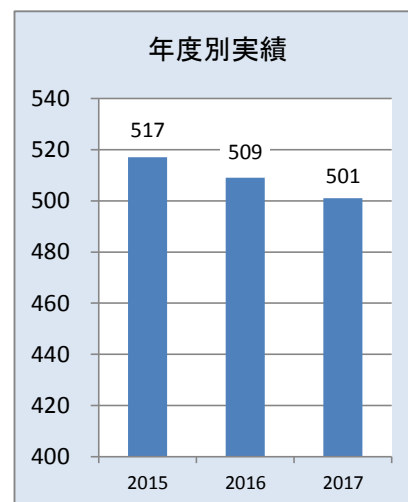
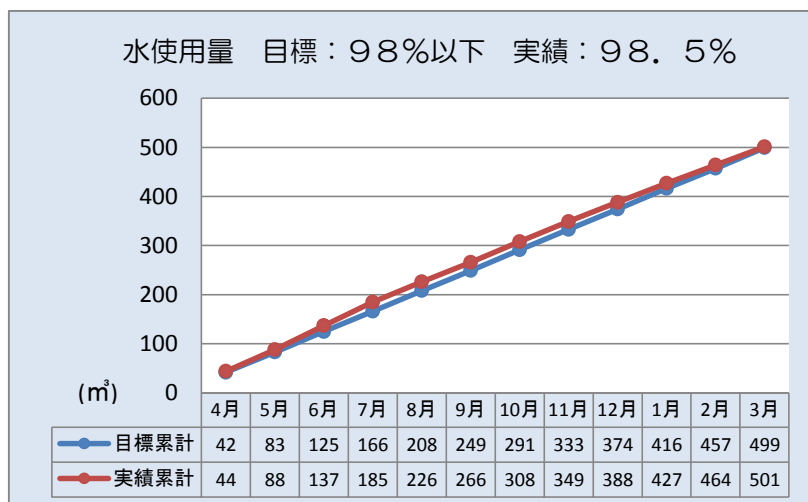
- ①蛇口付近に節水の表示
- ②生活用水以外は洗車など使用を控える
- ③トイレに音発生器「音消し」による無駄な水削減



●取組結果とその評価

水総使用量基準値	[509m ³]
水総使用量目標値	[499m ³]以下
水総使用量実績値	[501m ³]

評価＝【 ○ 】 基準値より1.6% (8m³) 削減



水使用量は、目標とほぼ同等の削減となりました。
この主な要因は、全社的な節水（トイレ・手洗い・洗車）への協力が数字となりました。

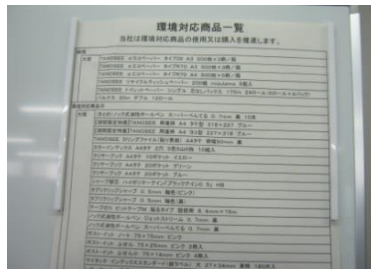
●次年度の取組内容

必要な生活用水以外、トイレの複数回流しや洗車など使用を控えるように推進いたします。

(5) グリーン購入

◇グリーン購入の推進

- ①グリーン購入品の推進
- ②購入品目の拡大
- ③コスト把握で効果を計る

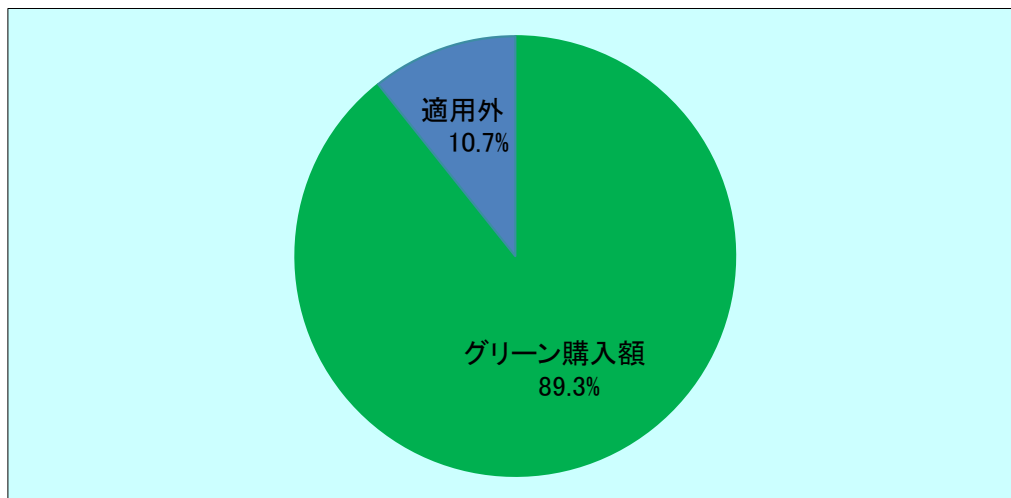


●取組結果とその評価

購入総額	¥217,675-
グリーン購入額	¥194,352-
目標	84%以上
実績	89.3% (購入比率)

評価＝【 ○ 】 目標値より5.3%購入拡大

<グリーン購入実績>



グリーン購入の推進として、本年度も昨年度同様に実績も89.3%となりました。
なお、購入品目のコスト面もしっかり把握が出来ました。

●次年度の取組内容

グリーン購入品目の拡大と除外品の削減に取り組めます。

(6) マテリアルバランス

・インプット

2017年度は、電力・ガソリンの使用量が増加しました。その中でコピー用紙の使用量は減少し水の使用量も減少するような結果となりました。

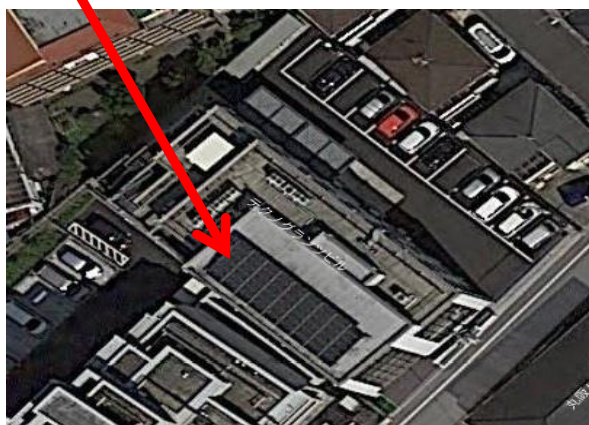
・アウトプット

2017年度の温室効果ガス総排出量は前年度比6%の増加となりました。

2017年度のインプット		→	2017年度のアウトプット	
調達材料		受注	製品	
・電子部品 ・機構部品	21,437kg 3,271kg	設計	・電子機器製品	23,274kg
製造調達		購買	廃棄物	
・半田 ・フラックス ・IPA	142.5kg 28kg 368ℓ	製造	・特別管理産業廃棄物 (リサイクル)	
紙／梱包材		検査	・廃液 (IPA、フラックス)	294kg
・コピー用紙 ・梱包材 (段ボール)	562kg 2,418kg	事務	・産業廃棄物(リサイクル)	
エネルギー		梱包	・金属	101kg
・使用電力 ・ガソリン ・水(上下) ・太陽光発電	196,698kwh 1,455ℓ 501m ³ 12,993kwh	出荷	・一般廃棄物	1,365kg
		運搬	・段ボール	655kg
			・一般紙	72kg
			・空き缶類	422kg
			・その他可燃	
			・CO2排出量	96t-CO2
			・排水(生活用水)	501m ³

(7) その他の取組

◇太陽光発電



弊社ビル屋上へ設置の太陽光パネルです。



2017年度の年間太陽光発電積算量は、22,897kwhとなりました。少量ながらも温室効果ガスの排出量削減と長期的な発電効果ができました。

◇環境情報の掲示



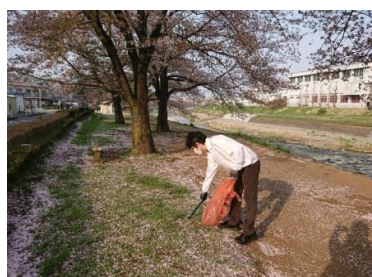
環境方針、環境目標を掲示。
環境目標計測グラフは集計後に貼り換えて掲示。

◇取引先廃棄物会社の視察



特管産廃管理責任者の同行にて産廃処理会社の視察を行いました。

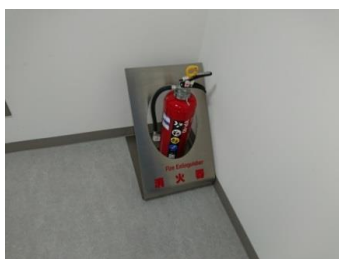
◇地域周辺との環境コミュニケーション活動



近隣の浅川土手沿いのゴミ拾い、美化活動に取り組みました。

地域の防災訓練へ参加しました。

◇環境上の緊急事態の訓練



緊急事態に備えての確認、訓練を実施しました。

◇生物の多様性の保全（鳥獣の保護）



ツバメが2羽が無事に巣立ちました。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法令・条約等	要求事項	適用施設・物質等	確認日	担当	遵守状況確認	評価
廃棄物処理法	◆保管基準 ・ 掲示板：60cm角以上 (種類、氏名、連絡先)	(金属、廃プラスチック) ・ 特別管理産業廃棄物 (IPA<イソフ>ビ&ルアルコ>鉛半田)	17.07.20	環責	・ 掲示板 (産廃、特管、保管場所)	○
	・ 飛散等防止 (飛散、流出、浸透、悪臭)		17.07.20	環責	・ 飛散等防止 (保管場所)	○
	・ 衛生管理 (害虫発生防止)		17.07.20	環責	・ 害虫発生防止 (保管場所)	○
	◆委託契約 ・ 産業収集、 特別産廃収集運搬業者		17.07.20	環責	・ 産廃：委託業者と再契約 ・ 特管：委託業者と継契約	○
	◆特別管理産業廃棄物管理責任者の設置		17.07.20	環責	・ 特別管理産業廃棄物 管理責任者(受入払出係)	○
	◆マニフェスト交付、知事提出、写し保管		17.07.20	環責	・ 産業廃棄物管理交付等 状況報告書	○
温対法	◆温室効果ガス抑制措置、計画、公表	・ 使用電力量	17.07.20	環責	・ 環境活動レポートHP公表	○
	◆国、地方公共団体施策への協力	・ ガス使用量	17.07.20	環責	・ 環境省施策に協力	○
グリーン購入法	◆環境物品の購入	・ 北用紙(文具等)	17.07.20	環責	・ 環境物品購入と使用	○
消防法	◆危険物取扱 ・ 製造所、貯蔵所、取扱所以外の 取扱禁止	・ IPA(第4類引火性液体) 指定数量(400ℓ)以下の為 非該当	17.07.20	環責	・ 貯蔵所、作業場所で取扱	○
	◆貯蔵、取扱基準順守 ・ 危険物政令、危険物試行規則		17.07.20	環責	・ 基準遵守	○
生物多様性基本法	◆生物多様性に及ぼす影響の 低減、維持可能な利用の努力	・ 太陽光発電、緑化 ・ 河川などの清掃 ・ 鳥獣の保護	17.07.20	環責	・ 環境方針の行動指針に 温暖化防止の取組追加 ・ 環境活動レポートHP公表	○

(2) 違反、訴訟等の有無

当社が適用する環境関連法規制について、環境マニュアルに規定する「環境関連法規制・条例・その他の規制登録表」により2017年4月1日から2018年3月31日までの状況を確認した結果、違反及び訴訟等はありませんでした。また、関連機関からの指摘もありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

全体評価

今年度の結果は、売上金額が前年度なみだったのに対して目標を達成できなかった項目が増加した。これは、受注物件の内容による影響が大きかったと判断できる。
受注物件内容の影響がある項目以外では、エコ活動の成果が反映された結果となっている。
また、クランプ式無線電力計を購入したが、有効な使用方法の検討中にとどまった。

次年度の取組

次年度の売上は今年度より幾分の増加が予想される。
2018年度の目標値は今までの2%から1%に引き下げたことで、現実的な目標値となると考えられる。さらに、今後の中長期目標値を当面1%とする。
また、クランプ式無線電力計の有効活用の方法を引き続き検討し、測定を実施する。

2018年7月20日
株式会社 ヒノックス
代表取締役 澤井 功



平成27年に10年継続
記念の盾を戴きました。

10. 環境情報の開示

2005年度より、当社ホームページで開示。 アドレスは ↓↓

URL: <http://www.hinox.co.jp/ecoaction/>

または、エコアクション21中央事務局ホームページの環境レポートは ↓↓

URL: <http://www.ea21.jp/list/pdfn/0000404.pdf>

以上